

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

(別添様式2)

公表日：2023年2月7日

配布数115(令和4年11月末現在)/提出108/未提出7

事業所名：伊丹市立児童発達支援センター

サービス種類：児童発達支援

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	<ul style="list-style-type: none"> ・立地条件上、十分な広さの確保は難しいですが、活動時間の工夫や保育室、遊戯室の環境設定、廊下などのスペースの活用などを行っています。 ・密にならないように利用者人数を調整し、保育を行っています。 	はい(102)・どちらとも(5)・いいえ(1)・わからない(0)無回答(7) ・しっかり守られてる環境なので、走り回る息子には、もっと広いに越した事ないかなと思います。	・利用されるお子さんの様子に合わせて、部屋の使い方や遊びの内容を工夫し、センター内だけでなく近隣のひろばや公園に出かけての活動も考えていきます。
	2 職員の適切な配置	<ul style="list-style-type: none"> ・センター全体で利用児の人数を把握し、保育士が流動的に動けるような体制をとっています。 ・基準内の適正な職員配置を実施しています。また、人員確保には、常に公募をかけて取り組んでいます。 	はい(92)・どちらとも(9)・いいえ(4)・わからない(3)無回答(7) ・職員やリハビリの先生の数が充分だとは思えないことはありません。 ・産休に入る専門職の先生の代理が不足している。 ・当初担任の先生が3人いたがすぐ一人急にやめてその後2人体制のまま。一人増やすべきでは？ ・先生の配置、対応など手厚さを感じています。 ・専門性があまり感じられない ・担当の先生が決まっている様だが、利用してしばらくの間、担当が決まっている事や誰が担当なのか分からなかった。 ・担当職員と担当児保護者が話をしている間、その担当児を一切見ておらず、他児とトラブルが起きてもすぐに気付かない事が多々ある。また、その担当児が割り込んだにも関わらず、トラブルがあった相手の子どもにだけ順番を守ろうなど注意している場面もあった。相手の子どもに話せば多少分かるから我慢させればいいと考えているのか、または担当児に対してどうせ言っても分からないだろうと馬鹿にしているのか、と感じた。 ・職員の方によって対応の違いがあったり特性に対する理解が違う容認感じるときがある。	・支援方法については、統一した方法で関わっていけるように、クラス担任、保護者の方と話し合う時間を大切にします。 ・保育士不足という社会の影響を受けていますが、クラスの子どもの人数に対して適切な職員配置を行っています。一人ひとりに合わせた関りを心がけます。 ・職員の専門性については、研修会へ積極的に参加し、子どもたちの特性に合わせた関わり方を学び新しい情報を得るとともに、子どもや保護者の支援に努めていきます。 ・子どもたちが、興味の持てる遊びの提供や、保護者への相談支援ができる環境作りに努めていきます。
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども一人一人の特性に合わせた環境構成や対応を心掛けています。 ・写真、絵カードなど活用して分かりやすい環境設定を工夫しています。 	はい(95)・どちらとも(8)・いいえ(1)・わからない(4)無回答(7)	引き続き実施していきます。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	<ul style="list-style-type: none"> ・保育中の共有物の消毒や手指消毒、毎日の清掃、使用後の玩具消毒、定期的な園庭整備、年間の定期清掃を行っています。 ・玄関や利用者が複数になる部屋の出入口などに消毒液を設置しています。 ・感染症予防啓発のために、ポスターなど掲示しています。 ・毎月定期的に安全点検を実施し、環境整備を行っています。 	<ul style="list-style-type: none"> はい(99)・どちらとも(6)・いいえ(1)・わからない(2) 無回答(7) ・仕方ないのかもしれませんが、清潔という点では保護者目線と言えば清潔とは言えないかなと思います。 ・とてもきれいです ・清掃や消毒もしっかりされていて安心しています 	<ul style="list-style-type: none"> ・衛生面や環境整備に一層配慮し、心地よく過ごせる空間や環境づくりに努めます。 ・排泄後は、保育室へ入室時に手指消毒を行うようにしています。 ・使用していない器具は片付けるなど、安全な空間を心掛けています。
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	<ul style="list-style-type: none"> ・年度毎に事業計画及び事業報告を作成しています。職員会議、保育運営会議などで、日々の業務や行事などの計画・実行・振り返りを行い、職員間で共有しています。 		引き続き実施していく。
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・実施していません。 		他機関のモデルなどを参考にしながら、実施の有無や方法について検討していきます。
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	<ul style="list-style-type: none"> ・センター内での職員研修の実施、外部研修への参加を行っています。 		<ul style="list-style-type: none"> ・今年度も年間の研修計画をたて、センター内での研修だけでなく外部研修への参加も推進し、職員の資質向上に努めました。今後も継続できるよう心掛けます。
適切な支援の提供	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者の思いを聴き取り、子どもの姿を捉えることで、計画を作成しています。聴き取り時に使用する書類(プロフィール)に関しては、毎年書式の見直しを行っています。 ・他職種の意見も参考にし職員間での共通理解を図るために、個別支援計画会議を実施し計画を作成しています。 ・カルミアは、利用日の時間中に保護者と話す時間を設けています。 	<ul style="list-style-type: none"> はい(97)・どちらとも(6)・いいえ(0)・わからない(5) 無回答(7) ・分析されているようには思えない ・個々の支援が全くないため 	<ul style="list-style-type: none"> ・利用開始時に保護者の願いを聞いて、作成した計画を保護者に説明しています。 ・今後も利用者の意向をふまえて、具体的な支援を行える内容で立案できるよう努めます。 ・分析されていないというご指摘については、利用者の意向をふまえて、具体的な支援を行える内容で、立案できるようより一層心がけます。
	2 子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの特性や年齢に合わせて課題や目標を設定し、集団の規模や保育形態を検討して保育を行っています。 ・つつじ、きぼうは、お子さんの年齢に応じて、延長保育やグループ保育を行っています。 		
	3 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもにとって生活やあそびのなかで取り組みやすい項目を設定し、具体的な手立てや支援方法を記入するよう努めています。 ・目標や支援内容については丁寧に説明し、保護者と共に取り組めるようにしています。 	<ul style="list-style-type: none"> はい(96)・どちらとも(4)・いいえ(1)・わからない(7) 無回答(7) ・放課後デイサービスや土曜日に使用出来る支援施設の紹介や橋渡しがもっとあれば助かります。 	<ul style="list-style-type: none"> ・相談部門の地区担当とも連携を図り、こども発達支援センター全体で、お子さん・ご家族の支援に努めていきます。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
適切な支援の提供(続き)	4	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・毎日の生活やあそびの中で、一人一人が楽しく取り組めるように、特性に応じた環境設定や関わり方などを工夫しています。 ・他職種とも連携し、支援や介助の方法など検討しています。 	<ul style="list-style-type: none"> はい(95)・どちらとも(7)・いいえ(2)・わからない(4)無回答(7) ・計画に沿った支援とともに、成長にあわせた支援もしていただいています 	一人一人が楽しく取り組めるように、特性に応じた環境設定や関わり方などを工夫していきます。
	5	チーム全体での活動プログラムの立案	<ul style="list-style-type: none"> ・活動予定を事前に職員会議などで決め、内容や役割分担などの打ち合わせを心掛けています。 ・他職種との会議を行い、参考にして活動内容を検討しています。 		引き続き実施していきます。
	6	平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	<ul style="list-style-type: none"> ・きょうだい夏休みの期間でも、保護者同伴の療育が提供できるよう、きょうだい保育を実施しています。 ・幼稚園と並行利用している利用児の長期休暇中の利用を柔軟に対応している。 		引き続き実施していきます。
	7	活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・活動プログラムについては、各クラスで話し合った案(月・週)をもとに全クラスで確認し合い、内容を工夫しています。 ・保育研修を積極的に受講し、活動内容に生かしています。 ・保育士の交流会を行い、遊びの内容の情報交換などしています。 	<ul style="list-style-type: none"> はい(89)・どちらとも(12)・いいえ(0)・わからない(7)無回答(7) ・室外活動も室内活動も行われ、からだを動かすことも椅子に座って作業することも経験できています 	<ul style="list-style-type: none"> ・知識を高め、職員間で意見を出し合いながら活動内容の工夫に努めていきます。 ・新しい歌や手遊びを、おたよりに掲載するなどして事前に伝えるようにします。
	8	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	<ul style="list-style-type: none"> ・毎日の朝礼で、当日利用予定の子どもの情報共有を行い、保育内容や人員配置の確認、保育準備、食事介助の確認などを行っています。 		引き続き実施していきます。
	9	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	<ul style="list-style-type: none"> ・療育終了後や翌朝礼時に、その日や前日の子どもの様子などを記録、報告し合い、次の支援に生かせるようにしています。 ・毎日の朝礼の時間も利用し、全職員での共通理解が必要な事案については、報告し合い情報共有しています。 		引き続き実施していきます。
	10	日々の支援に関する正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	<ul style="list-style-type: none"> ・療育終了後に子どもの記録を記入し、支援の検証や改善を実施しています。また、全体の記録としては、日誌を担当が記入しています。 ・定例会議で子どもの情報共有や支援方法の検討など行っています。 ・他職種とも連携し、支援や介助の方法など検討し改善していきます。 ・行事後は反省を記録に残し、次回に生かすようにしています。 		引き続き実施していきます。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
	11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	・前期・後期の年2回個別支援計画を作成し、保護者との面談を通して、子どもの成長や変化、「保護者の想い」等を聴き取り、内容の検討を実施しています。 ・職員間では、個別支援会議を実施し、計画の見直しを行っています。		・引き続き実施していきます。
関係機関との連携	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議への参画	・通所部門の管理責任者やグループリーダー、担当などが、必要に応じて相談部門との会議や相談員からの聞き取りを行っています。		・必要に応じて、実施していきます。
	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	・医療的ケア実施要項を作成し、主治医の指示書をもとに保護者より依頼を受け、センター診療所医師の指示のもと医療行為を行っている。 ・医療的ケア児等コーディネーターやセンター診療所スタッフと連携し、療育を行っている。 ・センター、診療所スタッフと連携して子どもへの支援を行うために、研修会などに積極的に参加し体制を整えられるよう努めている。 ・就学前児は、就学先の学校との引継ぎを実施している。 ・認定特定行為従事者が指導看護師の指示のもとたん吸引の実施を行っている。		・引き続き、各関係機関との連携を密にし、支援を実施していく。
	3	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	・主治医の指示書をもとに保護者より依頼を受け、医療行為を行っています。 ・医療的ケア児等コーディネーターやセンター診療所を通して、主治医などと連携しています。 ・近隣の医療機関に緊急時の受入れ協力を依頼し、対応できるようにしています。 ・看護師、保健師が主治医の病院に赴き、合同のカンファを行い情報を共有しています。		・引き続き、利用者のニーズに合わせ、受け入れ体制の整備や医療機関との連携に努めます。
	4	児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	・移行予定先からの子どもの様子の事前見学の受入れ、引継書を用いた引継ぎ、サポートファイルの作成などを行っています。 ・保護者や移行後の施設と連携をとり、保育所等訪問支援事業を実施しています。		・引き続き、利用者のニーズに合わせ、より丁寧な情報共有や連携に努めます。
	5	放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供			

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	・他機関、専門機関等での研修案内を朝礼や職員用の連絡ツールで職員全体に周知し、自主的に参加できるように促し、受講を促進しています。		・引き続き、実施していきます。
7	児童等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	<ul style="list-style-type: none"> ・つつじでは、居住地域の幼稚園等での地域体験を年長希望児において月1回実施しました。(後期から)年中児については、地域の幼稚園で行われる「みんなのひろば」開催日のおたよりを掲示し地域との交流の機会になるよう情報提供していました。 ・カルミアは、週1回の保育利用が低年齢児のため、園との地域交流は実施していませんが、地域のあそび場やプレ保育などの情報提供を行い、利用を促して地域との交流ができるようにしています。 ・きぼうでは、進路先を検討している保護者や興味を示される保護者に対して、地域幼稚園で開催されている「みんなのひろば」の開催日程を情報提供していました。しかし、昨年度同様感染症対策のため交流は実施できておらず、今後の状況を見て地域幼稚園・保育所・こども園での地域体験保育や再開したいと考えています。 	<ul style="list-style-type: none"> はい(26)・どちらとも(11)・いいえ(31)・わからない(40) 無回答(7) ・コロナの影響でなくなってしまうならば、大変残念です。 ・まだ交流した事がないので分かりません。 ・発達支援センターでの交流はない。 ・みんなのひろばや、きららホールゆうぎしつなどに行っている ・交流は全くないですよ?必要では? ・ワンダーランドなどのような、もっと交流の機会があったら良かったと思います。 ・就園就学先の見学くらいしか無いような気がします。 ・コロナ禍なのでないのかもしれませんが、交流はないです。 ・未就学児のため、分からない 	・コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、外部との交流はしていませんでしたが、コロナの感染状況を見ながら再開することを検討していきます。
8	事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	・事業所見学については、コロナ感染症予防に留意しながら、人数を調整しつつ随時受け入れています。		・必要に応じて対応していきます。
1	支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	<ul style="list-style-type: none"> ・支援内容については、各部門にて個人懇談を実施し説明しています。 ・利用者負担等については、契約時に手引き等を用いて説明をしています。 ・説明後に変更があった場合は、保護者懇談会、配布手紙やメール、個別への連絡等の手段で確実に情報提供を行っています。 	<ul style="list-style-type: none"> はい(97)・どちらとも(4)・いいえ(0)・わからない(7) 無回答(7) ・施設利用料金などの支払いについて、コンビニやスマホ(PayPayやpay easy)などで支払えるようにして欲しい。銀行の窓口まで毎月行くのが負担です。 	<ul style="list-style-type: none"> ・支援内容についてはは、引き続き丁寧な説明を心掛けます。 ・利用料支払いについては、納付書を使っの支払いにご協力いただいておりますが、実現に向けて、担当部局と調整してまいります。
2	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	・支援内容については、懇談を実施し、計画書を提示しながら保護者の願いを確認し、目標や支援内容を説明しています。	<ul style="list-style-type: none"> はい(102)・どちらとも(2)・いいえ(1)・わからない(3) 無回答(7) 	・引き続き、丁寧な説明を心掛けます。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
保護者への説明責任・連携支援	3 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・親子通所や懇談の中で、生活の中での様子や困り感を聴き取り、関わり方を具体的に伝えるなどして、保護者との情報共有や育児支援を行っています。 ・家族支援として、内容を吟味し保護者教室①や保護者教室②(「父親会」改め)を実施し、育児に必要な情報の提供、先輩保護者の話を聞く機会など設け、保護者支援を行っています。 ・他職種とも連携し、保護者からの相談に対応しています。 ・狭義でのペアレントトレーニングは実施していませんが、お子さんに合う方法を保護者とともに考え取り入れています。 	<p>はい(58)・どちらとも(13)・いいえ(6)・わからない(31) 無回答(7)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保護者教室②(父親会改め)について、コロナ禍ですが感染に気をつけながら開催を継続して欲しいです。 ・相談させていただいたり、アドバイスをもらうことはある。 ・ペアレントトレーニングは受けたことがない。当質問で初めて知ったが興味がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ペアレントトレーニングについては、保護者教室の研修会を通して保護者の皆さんに学んでいただける機会の提供とともに、職員のスキルアップにも努めています。
	4 子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	<ul style="list-style-type: none"> ・親子通所の療育を実施し、保護者との情報共有や育児支援を行っています。 ・単独通所児は、連絡ノートでのやりとりや、送迎時や電話などでの連絡を行い情報共有を行っています。 	<p>はい(93)・どちらとも(10)・いいえ(3)・わからない(2) 無回答(7)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・言葉の発達を促す保育をもう少ししてほしい。 ・毎回、相談確認していただいている。 ・お電話いただくこともありありがたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、お子さんや保護者が安心して利用できるように、職員間で連携をとり、保護者との共通理解が図れるように丁寧な対応を心掛けます。 ・保育の中で見られるお子さんの様子を的確に伝え、成長や課題になることを保護者と共有し、関わり方など提案できるよう心掛けます。
	5 保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・親子通所や懇談の機会に、保護者の悩みに寄り添うよう心掛けています。 ・他職種とも情報共有を行い、連携して保護者からの相談に対応できるようにしています。 ・必要に応じて児童精神科医相談を案内し、より専門的なアドバイスを受ける機会を提供しています。 ・カルミアは、利用日の設定保育の前の時間に保護者と話す時間を設けています。 	<p>はい(91)・どちらとも(6)・いいえ(3)・わからない(8) 無回答(7)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・面談は定期的にはありませんが、親子通の時に色々とお話し聞けます。なので不満はありません。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、職員間で連携をとり、保護者が安心して相談できる体制をつくるよう努める。
	6 父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	<ul style="list-style-type: none"> ・毎日通所のクラス(つつじ・きぼう)は、保護者会や保護者教室②(父親会改め)の活動を通して、保護者間の連携が取りやすい機会を設けています。 ・保護者会や保護者教室開催時には親子分離保育を行い、保護者同士の交流や意見交換の機会を設けています。 ・カルミアは、保護者教室は行っていますが、保護者同士の連携までは至っていません。 	<p>はい(81)・どちらとも(7)・いいえ(5)・わからない(15) 無回答(7)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもから離れて母親だけで悩みや「あるある」を話すことでみんな同じなんだと共感したい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・通所の形態に合わせ、保護者のニーズも取り入れながら、開催日時や実施内容を検討し、保護者同士が交流できる場を設けていきます。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
7	子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	<ul style="list-style-type: none"> ・苦情対応について、契約時に説明しています。 ・苦情や要望が上がった際には、迅速に対応するよう努め、職員にも周知し対応できるように心掛けています。 	<p>はい(53)・どちらとも(8)・いいえ(2)・わからない(45) 無回答(7)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子ども同士の関わりの中でのケガなどが発生した場合は、特に詳細な説明をお願いします。 ・どんな苦情があるのか、それについてどう対応しているかは当人以外は分かりかねます。 ・そのような場にあったことがない。 ・苦情を言ったことがないためわからない。 ・苦情がないため、わからない 	<ul style="list-style-type: none"> ・質問や要望をいただいた際には、速やかに対応し利用者にお伝えできるよう心掛けています。これからも苦情があった場合は、職員全体が周知し対応できるよう努めます。
8	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者全体への連絡事項や、実施内容の変更などがあった場合は、掲示や手紙の配布、配信メール、個別での情報提供などでの周知に努めています。 ・子ども一人一人の特性に合わせた関わりに取り組み、保護者に親子通所や懇談を通して伝えています。 	<p>はい(93)・どちらとも(6)・いいえ(1)・わからない(8) 無回答(7)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、丁寧な情報提供を心掛けます。
9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	<ul style="list-style-type: none"> ・年間の行事計画、毎月のくらすだよりや利用計画、行事の詳細についての手紙などを配布し情報提供を行っています。 ・一斉メール配信を利用したり、休日でも携帯電話で職員への連絡ができるように、緊急時の対応を行っています。 ・ホームページの作成を進めています。 	<p>はい(75)・どちらとも(6)・いいえ(3)・わからない(24) 無回答(7)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・月始めの会報をもらうが、活動概要は当日に知ることが多い。 ・親子通があるので活用は自分の目で見れます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・月初めに、書面で今月の予定を渡していますが、変更になる場合は、早急に変更の内容を伝えられるよう努めます。 ・ホームページでの発信も含めて保護者にわかりやすい情報発信を検討します。ホームページが令和4年度内に完成予定です。
10	個人情報の取扱いに対する十分な対応	<ul style="list-style-type: none"> ・個人情報については、市職員向け情報セキュリティ研修を全員が受講し意識の向上を図っています。 ・紙媒体の個人情報書類については、鍵付きの書庫にて管理し、書類作成、情報公開に際しても取り扱いには十分に注意をしています。 ・個人記録や連絡先等を記入しているノートや書類等は持ち帰りを禁止し、情報流出防止を徹底しています。 	<p>はい(97)・どちらとも(2)・いいえ(0)・わからない(9) 無回答(7)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き実施し、個人情報を取り扱っているという認識を深め、職員間で徹底していきます。
1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	<ul style="list-style-type: none"> ・緊急時対応マニュアルを作成し、いつでも確認できるよう提示やホームページへの掲載を行っています。また台風など警報発令時の対応についても、手紙を契約時に配布し説明しています。 ・感染症対応は、市の取り組みに準じて行い、手紙やポスターの掲示などで保護者に知らせたり、職員にも朝礼や資料の回覧、ポスターの掲示などで周知徹底を行っています。 	<p>はい(84)・どちらとも(11)・いいえ(1)・わからない(12) 無回答(7)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・感染症対策については初めに説明を受けた。 ・緊急時対応や防犯マニュアルについては知らない。 ・施設内にある貼紙を少し読んだ程度。 	<p>つつじ・きぼう・カルミアに「緊急時対応」や「防犯マニュアル」を設置しています。ご不明なことがありましたら、職員にお尋ねください。</p>

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
非常時等の対応	2 非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・センター全体で年2回の避難訓練を実施しています。曜日ごとに週1回登所するクラスもあるため、訓練実施曜日が重ならないよう計画しています。 ・単独通所のクラスは月1回、親子通所のクラスは不定期ですが独自で避難訓練を行っています。また、避難経路を掲示しています。 	<p>はい(73)・どちらとも(5)・いいえ(9)・わからない(21) 無回答(7)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どの程度で行われてるのか分かりませんが1度受けたことはあります。 ・自分たちが通っている期間では行われていない。 ・避難経路の説明や避難訓練は定期的にしていただけるとありがたいと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・半年に1回あすばる全体の避難訓練を実施していますが、その曜日に利用されていないければ経験していないこともあります。 ・つつじは月1回、いろいろな場面を想定して避難訓練を実施しています。 ・避難経路については、各階掲示をしておりますが、職員からも利用の際に説明させていただくよう周知徹底いたします。 ・利用形態に合わせ、様々な災害を想定した避難訓練をさらに実施していく必要があると考えています。
	3 虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応	<ul style="list-style-type: none"> ・市主催等の虐待防止研修会への積極的な参加を促しています。 ・あすばるの職員全員が参加する人権研修会を実施し、人権意識の向上を図っています。 ・療育の中で子どもへの対応については、全職員がかかわり方を随時見直し、お互いに声を掛け合いながら虐待の疑いにつながる事案が起きないように未然防止に努めています。 		<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き実施し、研修会への積極的な参加を促し、人権意識を高めるとともに、一人一人に寄り添う支援を心掛けます。
	4 やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明し、了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	<ul style="list-style-type: none"> ・別紙で書類を作成し、保護者説明を行い、同意を得ています。 ・行動を制限した場合は記録に残し、対応や改善方法など職員間で検討しています。 		<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、実施していきます。
	5 食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	<ul style="list-style-type: none"> ・契約時にアレルギーの有無を確認し、給食開始の際は、看護師や職員より聞き取りを行い、主治医からの情報や診断書を基に対応しています。 ・献立作成時の食材の確認、除去食を先に調理し食材の混入を防ぐ、検食での確認などを行っています。 ・アレルギー児のトレーや名札を用意し、提供前の声出し確認をしています。エプロンや衣服について食べこぼしを落とし、足裏を拭いてから退室するようにしています。 		<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、一人一人への対応を行い、職員間での情報共有も行っていきます。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
6	ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	<ul style="list-style-type: none"> ・センター内リスク会議を月1回実施しています。また、市内公立保育施設のリスク会議に出席し、リスクの報告、検証を行い共有しています。 ・ヒヤリハット、アクシデントが発生した場合は、検証を行い、報告書の記入、報告を通して職員間での情報共有を行っています。 ・前月や前年度同月の事例を参考に、次月に予測できるリスクを職員会議で確認し、職員一人一人が意識して未然に防げるよう努めています。 ・センター内やセンター周辺の危険個所を掲示し、保護者と共有できるようにしています。 	/	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、安心安全に利用していただけるよう、環境の見直しを行い、保護者・職員間で情報の共有に努めます。